

付録

- 1.清里町の歴史年表
- 2.地域指定の状況

付録 清里町歴史年表

1. 清里町の歴史年表

本町は、明治23年に網走～釧路を結ぶ野川道路の開削により、同24年に岩手県人の塚本伊勢太氏が野川駅逦管理人として定住、同30年同氏が神威10線21号に転住入地したのがはじまりとされ、翌31年から32年にかけて、止別上斜里原野に植民地区画が設定されて以後、明治末期にかけて入植者が増加定住した。

あ ゆ み

貞享年間	松前藩の管轄であった。
文化 4年	幕府の所轄となって函館奉行に属していた。
安政 4年	堀田備中守の家臣須藤秀之助外2名が本村を探検、これが文献に現れた和人最初の足跡である。
安政 6年	会津藩に属し、斜里に役所を置く。
明治 2年	蝦夷を改め北海道とし、11国86郡を定め、ここにはじめて北見国斜里郡となる。
明治 5年	開拓使根室支庁の管轄となる。
明治12年	網走郡役所に属し、斜里戸長役場が設置された。
明治15年	根室県に属す。
明治19年	根室県廃止により、北海道庁の管轄となる。
明治23年	網走～釧路を結ぶ釧路道路が開削された。
明治24年	岩手県人、塚本伊勢太氏が野川駅逦の管理人として定住。
明治30年	神威10線21号に塚本氏転住入地、現清里町における和人初の移住である。
明治41年	ウエンベツ教授所を設置し、授業を開始する。
明治42年	斜里・川湯間の道路開通。斜里原野7線19号に上斜里駅逦所が設置された。
明治43年	上斜里教授場石狩農場特別教授場、鈴木農場特別教授場を開設するが、教育機関の完備のため新校舎が建設され、上斜里教授場として開校した。ウエンベツ教授所、石狩農場特別教授場、鈴木農場特別教授場は上斜里教授場へ併合された。
明治45年	上斜里教授場が上斜里尋常小学校に昇格。
大正 4年	2級町村制を施行、斜里村の管轄となる。
大正 6年	上斜里信用組合設立。
大正 7年	上斜里市街に山田医院開業。網走外2郡水産組合が、上札鶴ワッカオイ国有林地内でふ化事業を開始。
大正 8年	上斜里郵便局が開設された。上斜里商業組合が結成された。上斜里尋常小学校が上斜里尋常高等小学校に校名改称。高等科併置。鶴之巣尋常小学校、札弦特別教授場を開設。
大正12年	上斜里消防組が組織された。
大正14年	上斜里郵便局電話通話業務を開始。網走・斜里間鉄道開始。
大正15年	上札鶴尋常小学校が設置された。

昭和3年	上斜里市街に電灯がついた。
昭和6年	札弦市街が大火に見舞われた。
昭和8年	上斜里市街が大火に見舞われた。
昭和9年	江南尋常小学校が設置される。 札鶴特別教授場が札鶴尋常小学校と改称。
昭和10年	分村期成会結成。上札鶴郵便局が開設された。
昭和11年	日食観測が行われ仁科、ストラットン両博士外10名の観測隊来村。
昭和16年	小清水・札鶴間にバス定期運行開始。
昭和17年	日本繊維工業株式会社斜里工場が設置され、亜麻耕作が急増。
昭和18年	斜里町及び小清水村一部を分かち上斜里村が誕生した（開村）。
昭和19年	上斜里森林組合が設立された。
昭和22年	公選による村長誕生（中村弥一氏）。役場庁舎落成。 上斜里尋常高等小学校が上斜里小学校と改称。 札鶴尋常小学校が光岳小学校と改称（中学校併置）。 上札鶴尋常小学校が上札鶴小学校と改称。
昭和23年	消防団発足。 鶴之巣尋常小学校が新栄小学校と改称。 林内小学校開校。
昭和24年	上斜里村の人口10,000人突破。網走支庁上斜里地区農業改良相談所 が開設された。
昭和25年	ラジオ共同聴取事業完成。上斜里村観光協会設立。
昭和26年	上斜里高等学校設立。村営牧場開設。 広報紙「上斜里村報」創刊。斜里・上札鶴間のバス定期運行開始。
昭和28年	村章（現在の町章）を制定。
昭和29年	上斜里営林署設置。上斜里小学校改築完成。
昭和30年	町制が施行され、町名を清里町と改称。 上斜里小学校が清里町立清里小学校と改称。 江南尋常小学校が江南小中学校と改称。 上札鶴小学校が緑町小学校と改称（中学校併置）。
昭和31年	林内小学校が清泉小学校と改称。
昭和32年	町有林165町歩植林完了。
昭和33年	町立国民健康保険病院開院。札弦市街大火。
昭和35年	農事研修所落成。
昭和37年	簡易上水道拡張工事着工。農事構造改善地区に指定される。
昭和38年	簡易上水道完成。国営土地改良工事着工。清里・中標津間開発道路工事着 工。開基65年開町20周年記念式典を行う。
昭和39年	清里町公民館落成。 江南中学校が設立され、江南小中学校が江南小学校と改称。
昭和40年	清里町駅舎、農業機械センター、火葬場、札弦郵便局舎、緑保育所落成。 裏摩周林道竣工。清里・中標津間開発道路開通。
昭和41年	母子健康センター落成。
昭和42年	麦作センター、学校給食センター落成。

昭和43年	町旗、町民憲章を制定。開基70年開町25周年記念式典を行う。 清里中学校（統合）校舎新築工事着工。清里町駅袴線橋完成。
昭和43年	農村集団電話開通。愛の鐘建立。
昭和44年	緑町会館、役場緑支所落成。国営土地改良事業完成。
昭和45年	斜里郡3町終末処理場完成。清里中学校（統合）校舎落成。緑町、光岳、 江南各中学校統合のため廃校。
昭和46年	福祉センター、生活改善センター、清里町消防団第2分団庁舎落成。役場 札弦支所開設。過疎地域振興計画策定。清里高等学校（家政科）全日制に 移管決定。
昭和47年	役場庁舎建設工事着工。第2簡易水道施設工事着工。清里高校全日制とな る。
昭和49年	清里高等学校全日制普通科設置。清泉小学校廃校。江南総合地域施設完成。
昭和50年	町制施行20周年を記念して町花「ムクゲ」、町木「オンコ」を制定。 大橋道生氏が町長に初当選。清里保育所改築落成。
昭和51年	馬鈴薯醸造試験事業開始。上斜里総合地域施設落成。国保病院業務委託。 江鳶山森林レクリエーション地区に指定（林野庁）される。
昭和52年	16号橋架替完成。裏摩周地区阿寒国立公園に指定される。
昭和53年	清里高等学校新校舎、神威地区研修集会施設落成。開基80年開町35年 式典を行う。
昭和54年	清里高等学校が道立となる。じゃがいも焼酎「きよさと」発売。
昭和55年	文化センター、トレーニングセンター、地域休養施設（緑清荘）落成。江 南小学校改築。第2次清里町総合計画策定（昭56～平2）。斜里岳が道 立自然公園に指定される。第1回「ふるさと産業まつり」開催。
昭和56年	新栄小学校改築、緑町基幹集落センター落成。幼稚園開園。
昭和57年	清掃センター焼却炉完成。
昭和58年	光岳小学校改築。開基85開町40周年式典行う（タイムカプセル埋設、 記念碑建立）。
昭和59年	塵芥処理施設（破砕）完成。特別養護老人ホーム用温泉掘削、湧出。
昭和60年	町民テニスコート完成。
昭和61年	特別養護老人ホーム「清楽園」完成。農作物処理加工施設（焼酎工場）、 レストハウスきよさと及びふれあい広場完成。緑町小学校増改築。
昭和62年	武道館、町民プール完成。第1回「焼酎フェスティバル」開催。
昭和63年	開基90年開町45年記念式典を行う。葬斎場建設。
平成元年	第1回みどりのフェスティバル、第10回「ふるさと産業まつり」開催。
平成2年	裏摩周ログハウス建設。第3次清里町総合計画策定（平3～平12）。
平成3年	パパスランド落成。
平成4年	緑清荘増改築工事、清里小学校、給食センター新築工事着工。全国農村景 観100選（特選20選）に選ばれる。
平成5年	緑清荘改築工事、清里小学校、給食センター完成。
平成6年	リレハンメル（ノルウェー）冬季オリンピックに糸川、岡崎、小笠原選手 出場。清里市街地近代化事業着工。一般廃棄物最終処分場完成。
平成7年	清里地区農業集落排水センター完成。橋場博氏が町長に初当選。生涯学習

	総合センター建設工事着工。
平成 8年	下水道供用開始。
平成 9年	生涯学習総合センター（プラネット' 97）完成、清里町100年記念式典開催。 ニュージーランド・タスマン地区・モトエカ町友好都市提携調印
平成10年	2月冬季長野オリンピック。清里町出身、岡崎朋美選手がスピードスケート500mで銅メダルを獲得。在宅介護支援センター・訪問看護ステーションオープン。
平成11年	斜里岳山小屋「清岳荘」焼失。清里町コミュニティーセンター完成。 緑地域休養施設（緑の湯）、江南オートキャンプ場オープン。
平成12年	第4次清里町総合計画策定（平成13年～平成22年）。保健福祉総合センター（介護老人保健施設・診療所・保健センター）オープン。
平成13年	札弦地区農業集落排水センター完成。札弦地区下水道供用開始。清掃センター改造工事着工。 第4次総合計画重点プロジェクト「花と緑と交流のまちづくり事業」スタート。
平成14年	清掃センター改造工事完成。
平成15年	地域イントラネット整備事業完成。穀類乾燥調製施設完成。 清里中学校改築工事着工（1年目：校舎ほか） 全国花のまちづくりコンクールで農林水産大臣賞受賞。 「日本一きれいな河川－斜里川」 環境省が発表した2003年度の水質測定で、斜里川の上流・中流が日本一きれいな河川として評価される。
平成16年	清里中学校改築工事（2年目：体育館ほか）。 斜里岳山小屋完成。
平成17年	2月清里町自立計画策定（平成16年～平成21年）。 指定管理者制度による施設管理スタート。（介護老人保健施設、穀類乾燥調製施設）。 ごみ処理の有料化スタート。 清里中学校改築工事完了（4年目：グラウンドほか）。 江南パークゴルフ場仮オープン。 清里町制施行・町名改称50周年記念式典を行う。 きよさと国際花サミット2005開催。地域担当職員制度スタート。
平成18年	2月イタリア・トリノ冬季オリンピックに岡崎朋美選手が今回は日本選手団の主将として4度目の出場を果たす（女子500m＝4位入賞、1,000m＝16位） 緑清荘、パパスランド、道路橋梁及び河川の維持管理を新たに指定管理者制へ移行する。 「緑の感謝祭」に全国の花いっぱい運動代表として、特別招待を受ける。 清里中学校野球部が北海道代表として全国大会出場。 ガーデンアイランド北海道インきよさとフォーラム開催。 過疎地域活性化優良事例表彰で総務大臣表彰受賞。
平成19年	「平成19年緑化推進運動功労者内閣総理大臣表彰」を受賞。 「パパスランドさつつる」が道内101番目の道の駅に登録。 清里町納税貯蓄組合連合会が解散。

	札幌知床間高速バス運行開始（清里町新栄経由）。
	国営畑地帯総合土地改良事業が完成。
	札幌ベニヤ本社工場の全焼で町災害対策本部を設置。
平成20年	神威麦乾燥施設増設。
	地方自治法施行60周年記念式典において総務大臣表彰を受賞。
	商工会加盟67店舗で「ファミリーカード」の利用が始まる。
	ガーデンアイランド北海道2008in清里フォーラム開催。
	清里町景観計画施行。
	焼酎新製品（麦焼酎、かぼちゃ焼酎）を発売。
	一般廃棄物最終処分場増設工事着工。
	緊急経済対策事業として「地域振興券交付事業」「公共施設整備緊急事業」「公営住宅整備事業」を実施。
平成21年	ニュージーランド・タスマン地区・モトエカ町と友好都市協定再調印。
	第2期清里町自立計画を策定（平成21年～平成23年）。
	清里高校が網走南ヶ丘高校をセンター校とする地域キャンパス校となる。
	第1回きよさと商工まつり開催。
平成22年	2月カナダ・バンクーバー冬季オリンピックに岡崎朋美選手が5度目の出場を果たし、開会式にて日本選手団の先頭で旗手を務めた。
	（女子500m＝16位、女子1,000m＝34位）
	第1回きよさとにぎわいまつり開催。
	清里小学校開校100周年。
	清里町耐震改修促進計画を策定。（平成22年～平成27年）
	清里町民会館落成。ホテル緑清荘改築工事完了。
平成23年	新栄小学校、江南小学校が開校。
	楡引政明氏が町長に初当選。
	札幌センター工事着工。
	清里ジャガーズ初の全国大会出場。
平成24年	上斜里フラワーロード推進協議会が環境省地域環境美化功労表彰・「わが村は美しくー北海道」運動コンクールを受賞。
	清里町プライズクラブ全国大会出場。
	札幌センター完成。パパスランド工事着工。
	清里高校とモトエカ高校が姉妹校となる。
	清里高校60周年。
平成25年	光岳小学校屋内運動場等落成式。
	パパスランド完成。
	清里町115年開町70周年記念式典開催。
平成26年	まちづくり住民大会で清里町のゆるキャラが「きよっぴ」に決定。
	光岳小学校創立100周年。
	町民プール工事着工。
	じゃがいも焼酎「北海道 清里」リニューアル。
平成27年	岡崎朋美さんを清里町ふるさと大使に任命。
	町民プール完成。
	清里町まち・ひと・しごと創生総合戦略、清里町人口ビジョンを策定。

- 平成27年 ジャがいも焼酎「北海道 清里」が「グッドデザイン賞」を受賞。
- 平成28年 東京農業大学生物産業学部との包括連携協定を締結。
きよさと情報交流施設『きよ～る』完成。
清里町が「日本で最も美しい村」連合に加盟。
- 平成29年 阿寒国立公園が阿寒摩周国立公園に改称され、神の子池が編入。
ケアハウスきよさと工事着工。
- 平成30年 緑町小学校が清里小学校へ統合。
清里町120年開町75周年記念式典開催。
ケアハウスきよさとオープン。
清里中学校70周年。
- 令和元年 光岳小学校が清里小学校へ統合。
清里町商工振興計画を策定。（令和元年～令和5年）
商工会ポイントカード「KIYOPON（きよポン）」の利用が始まる。
- 令和2年 第6次清里町総合計画を策定。（令和3年～12年）
- 令和3年 子育て世代包括支援センター開設。

2. 地域指定の状況

(地域開発)

- ・辺地に係る公共施設の総合整備のための財政上の特別措置等に関する法律による指定 (昭和37年7月18日)
- ・山村振興法による指定 (昭和44年12月27日)
- ・豪雪地帯対策特別措置法による特別豪雪地帯の指定 (昭和54年4月2日)
- ・過疎地域自立促進特別措置法による指定 (平成12年4月1日)

(産業関係)

- ・寒冷地畑作営農振興地域 (昭和43年7月30日)
- ・農業振興地域 (昭和45年3月31日)
- ・肉用牛生産振興地域 (昭和54年3月31日)
- ・野菜指定産地 (平成5年5月31日)
- ・地力増進地域 (平成6年3月10日)
- ・酪農及び肉用牛の近代化を図るための計画認定 (平成8年12月20日)

(観光関係)

- ・林野庁森林レクリエーション地区 (昭和51年4月1日)
(江鳶山、裏摩周、男鹿の滝、緑スキー場周辺)
- ・阿寒摩周国立公園地域 (裏摩周、神の子池、清里峠地区) (平成28年8月8日)
- ・斜里岳道立自然公園 (昭和55年4月1日)
- ・郷土の森指定 (江南、江鳶虹の森) (平成6年4月28日)

(商工関係)

- ・特定地域中小企業対策臨時措置法による指定 (昭和61年12月2日)

(構造改革特別区域計画の認定)

- ・地産地消で豊かな給食特区 (平成16年12月8日)

2021清里町統計書

令和4年3月 発行

編集・発行 清里町企画政策課(まちづくりグループ)

〒099-4492

北海道斜里郡清里町羽衣町13番地

電話(代)0152-25-2131

<https://www.town.kiyosato.hokkaido.jp/>

本書の無断転載を禁ず